



# KAGOSHIMA Y'S MEN'S CLUB

2025. **8** 月号

鹿児島ワイズメンズクラブ No. 416

- 国際会長：Edward Ong [シンガポール] 信念、愛、行動  
Faith, Love, Action
- アジア太平洋地域会長：田上正 [熊本むさし] 信念と愛を持って行動しよう！  
Act now with faith and love!
- 西日本区理事：中井信一 [奈良] 世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう！！  
Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!
- 九州部部長：本田節子 [熊本Nスピリット] 楽しく交流しながら地域のために奉仕しよう  
Let's serve the community while having fun and interacting



「一步一步積み重ねていけば何とかなる！」

鹿児島クラブ会長 松若 鉄比古

## 第31回アジア太平洋地域大会出席報告

鹿児島クラブ 徳田 穰

2025年8月1日(金)～3日(日)に熊本市の熊本城ホール及びホテル日航熊本で開催された第31回アジア太平洋地域大会に松永ワイズと出席しましたので、その概要を報告いたします。当初は中堀ワイズも出席する予定でしたが、急用により出席できませんでした。大会はすべて英語で話すのが基本となっており、英語が苦手な私が報告を書くことになり大変苦労しました。参加者は、18か国・地域から総勢583名、うち日本は東西併せて409名の出席でした。多勢の人の参加で大変盛り上がった大会でした。

大会第1日目(8月1日)は、大会の開会式が厳かで歓迎に満ちた中で執り行われました。開会式の前には「山鹿灯籠踊り」、「大津太鼓」と熊本を代表する2つの伝統芸能が披露され、静と動の織り成す踊りと力強い太鼓の演奏に会場は、幻想と熱気に包まれました。それが終わると熊本市長の祝辞、エリア旗や各区のバナー等が入場し、大会の幕開けを華やかに飾りました。田上正アジア太平洋地域会長による開会宣言と点鐘、そして本大会への意気込みと感謝の言葉が述べられました。開会式は厳かの中にも和やかな空気に包まれ、幸先の良いスタートとなりました。引き続き国際会長就任式、アジア太平洋地域会長就任式が行われました。新会長がこれからの活動の熱い思いを語りました。

次に、大野嘉宏・在京都ラオス名誉領事(京都パレスクラブメンバー、元西日本区理事)による、大野さんが中心となって進めてこられてきたラオスにYMCAを設立する取り組みについての基調講演が行われました。講演の概要を記すと、もともとのきっかけは京都市動物園にラオスから象をもらう運動がラオスとの強い繋がりとなり、大野さんが京都ラオス名誉理事に就任されたことです。ラオスは東南アジアで唯一YMCAが存在しない国です。そこにYMCAを作ろうとしたのです。ラオスは歴史的背景やキリスト教への偏見などからYMCAの設立は困難とされていた国です。そこで大野さん達は、まず観光立国を目指すラオスに、教育で貢献するため東京YMCA国際ホテル専門学校分校を設立することから始めようとして、分校設立を提案しました。2021年の京都パレスクラブ創立50周年記念に1000万円の寄付を募り、さらに「ラオスにYMCAを作る有志の会」を立ち上げ、全国のクラブに支援を呼びかけるなどの行動をおこしました。そして、ラオスの当局と直接交渉にあたったのが大野さん、チェンマイにいた西村隆夫元国際書記長と小畑貴裕東京YMCAホテル専門学校長等でした。2026年4月にYMCAホテル学校を開校できると思っていたが、今年になってYMCAという言葉ははずしてほしいと言ってきたので、今そのことで話し合いをしている。開校は少し遅れることになるかもしれないが、設立は絶対にしたいと思っている。大野さん、西村さん、小畑さんそして、それを応援している方々の熱意と執念、その努力には感動しました。基調講演に続いて、熊本ジェーンズクラブと台湾の台北ユニオンクラブとのIBC(国際兄弟クラブ)の締結式が行われました。

TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT

次にアジア太平洋地域の昨年度の活動を振り返る報告がジョンウン・ウォン直前アジア太平洋地域会長から行われました。また、ショートビデオコンテストの結果発表及び表彰式がありました。日本の甲府21クラブがコミュニティ部門で、台湾のB T R Aクラブが自由制作部門で優勝しました。本コンテストは「Make A Great Inpact」をテーマに、若者やクラブの創造力・地域貢献の映像を募集したものです。

会場をホテル日航熊本に移し、18時30分から晩餐会が開催されました。本格的な洋食で大変おいしく、お酒も進みました。DBCを締結している宝塚クラブ(6名出席)と京都ウェルクラブ(2名出席)とは、パーティーの席で懇親を深めました。また、元鹿児島クラブに居た徳澤さんとも旧交を温めました。サプライズゲストに「くまもん」が出てきたり、恒例のカルチャーナイトでは、アジア太平洋地域の各区、各国から多彩なパフォーマンスが披露されました。皆様和気あいあいと大変盛り上がり、素敵な晩餐会でした。

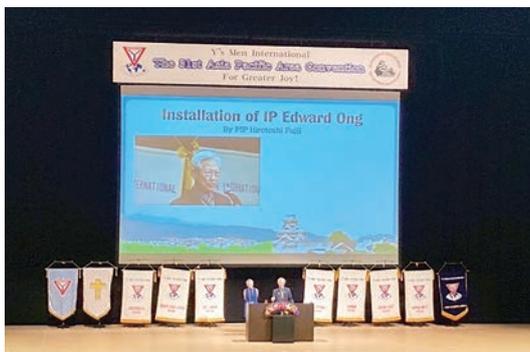
2日目(8月2日)は、エクスカージョンでしたが、私は第5コースのミュージック・フェスに参加しました。第1部では、日本のユースによるSDGsアクションの発表が行われました。各コースの不登校や人権、平和等の社会的課題の取り組みはみな素晴らしく、鹿児島YMCAもユースリーダーを養成しなければならないとつくづく反省させられました。第2部ではロールバックマラリアの啓発プログラムの後、音楽や踊りが約3時間に渡り披露されました。ワイズの男性によるハワイアンの踊りや馴染みの曲も多く、観客や演奏者が一体となり、大変楽しい盛り上がったミュージック・フェスでした。出演者は全員ワイズのメンバーでした。ワイズメンにこんなに多くの芸達者の人がいるのには驚かされました。

夜は、また会場をホテル日航熊本に移し、地域会長晩餐会が行われました。アジア太平洋地域コースコンボケーション(A Y C)参加のコース達によるパフォーマンスや「いつもそばに」(八代クラブ守田淳子ワイズ作詞・作曲)、「YMCA」の歌等を全員で歌いました。フィナーレは「おてもやん踊り」を舞台だけでなく、会場の人も踊り出すという最高潮の盛り上がりになりました。

3日目(8月3日)は、礼拝で始まりました。アジア太平洋地域CEの川上直哉石巻栄光教会牧師の説教がありました。川上牧師は石巻広域ワイズメンズクラブの会員です。2011年3月11日の東日本大震災の経験者として、当時の現況と現在の石巻の復興の状況を話されました。今、石巻は人手不足を補うため東南アジアや特にインドネシアの若者が多勢入ってきています。そこにヘイトスピーチの問題もおきています。イスラム教徒の方々や石巻にモスクを作る経緯の説明から国籍が違っても、宗教が違っていても、同じ現場に生きる人は、互いに努力して力を合わせるようになる。力を合わせるうちに仲間になり、家族ようになる。ワイズメンズクラブはその実践の場となっている。今、ヘイトスピーチのような世界のいろいろな闇を私たちは知っています。「闇は光に打ち勝たなかった」と聖書の言葉を信じ、ワイズメンとして真実を求めて実践していきましょうと語られました。その後、国際書記長報告、A Y C参加者のコースの報告とコースへの終了証の授与、プロモーションとして2026年国際大会(ドバイで開催)と2027年アジア太平洋地域大会(チェンマイで開催)のアピールがありました。

最後に閉会式が行われ、田上正アジア太平洋地域会長の閉会挨拶、閉会宣言があり、蛍の光を全員で合唱し閉会の祈りを持って終わりました。

3日間に亘る大会でしたが、皆様満足して帰られる様子から、大成功の大会ではなかったと思われました。田上正実行委員長をはじめ大会の運営に携った皆様に心から感謝を申し上げます。





「一歩一歩積み重ねていけば何とかなる!」

夏休みといえばラジオ体操を思い出す。小学生の頃、朝眠い目をこすりながらも近くの広場に通うのが楽しみでした。出欠表のマス目に印が埋まっていく。子供達にとってその嬉しさはいつの時代も変わらないでしょう。近所の小学生や園児たちも、町内会の大人と一緒におなじみのピアノ演奏に合わせて体を動かしている。ラジオ体操について調べてみると『1928年に「国民保健体操」として始まり、学校や職場で普及した。戦時下には兵士の出征先で盛んに行われたという。規律正しい動きが連合国軍司令部(GHQ)に目を付けられ、教育現場から排除されたことも。曲折を経て、現在の「第1」がスタートしたのは1951年』。戦争に翻弄されてきた歴史と言えるかもしれません。広島、長崎の原爆忌、そして終戦の日と続く8月が始まりました。戦後80年。老若男女は今も、新しい朝が来るたび、真夏の青い空に向かって背筋をピンと伸ばしている姿は、戦争で亡くなったすべての人に送りたいメッセージの様に思われます。

さて、7月のキックオフ例会は、会長として今期の活動方針、計画について報告しました。その後、今後の活動について、皆で意見交換を行い、活発で有意義な議論が出来ました。特に毎月のブリテンの報告を特定な人に限らず、前もって順番を決めて投稿してはどうかと提案したところ、皆に快諾してもらいました。特色あるブリテンになると思います。

ところで、8月に入り日本列島で観測史上最高気温を記録したと思えば、線状降水帯の発生により、九州各地に記録的大雨を降らせ、水害も発生しております。異常気象の現れでしょうか。これからまだまだ猛暑も続きそうで、「熱中症警戒アラート」も発令されることでしょうか。お互いに健康に留意してこの厳しい時期を乗り切りましょう。



世界中の仲間とYYYライフを楽しみましょう!!

Let's enjoy the YYY life together with our friends all over the world!!

今年の夏は例年以上の酷暑が続いていますが、皆様ご体調お変わりないでしょうか?お伺い申し上げます。小生は、週2回のテニスをインドアコートですが続けております。良く汗をかき、その後の水シャワーですっきりし、暑い日々を乗り越えています。7月号理事通信以降に皆様と情報共有させて頂きたい事をお伝え致します。

1)西日本区大会にて旧知のJOAN アジア太平洋地域会長の司式にて引継ぎ式を執り行って頂きました。参加して頂きました皆様には、その後の所信表明にてお話をさせて頂きましたが、西日本区の皆様にお伝えしたい事が2点とお願いを1点申し上げました。①1点目は、理事主題でもお伝えしています『世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう!!』です。1978年から87年まで国際物流の会社にてUSAで仕事を致しました。その際に懇意にして頂いたN航空の現地スタッフから“SAM、自分が楽しんでいないと周りの方も楽しめないよ。”とアドバイスを頂きました。それ以来、先ず自分自身から楽しむ様に努めています。ご一緒に YYY ライフを楽しみましょう。②2点目は、私も奈良YMCAのリーダーを学生時代に経験致しました。5月末に1970年代にリーダーを経験した仲間とスタッフが21名集いました。一気に青春時代に戻り、大学よりもYMCAが我々の居場所でした。YMCA、ワイズも沢山の社会貢献をしていますが、認知度が高いとは言えません。皆様とご一緒にワイズ、YMCAでの居場所作りも行いましょう。③3点目は“SMILE”のお願いです。“笑う門には福来る。笑う門には新メンバー来る。”です。ご一緒に1年間笑顔をお願い致します。久保田 EMC 事業主任も例会の充実、楽しい例会をお願いしています。

2)6月21、22日に開催されました『日本YMCA同盟協議会@東山荘』に鶴丹谷理事と小生は次期理事のお役目で参加致しました。世界YMCA同盟からは、CARLOS 総主事、RAZVAN 氏も参加され、総勢約140名が集いました。ユースも大勢参加され、小生の理事主題のYYYが集い、沢山の仲間と情報交換を行いました。特に、RAZVAN 氏からの提起された『世界YMCA Vision2030』について、理解を深め、自分たちに何が出来るかの情報交換を行いました。盛岡YMCAのユースから昨年日本YMCA大会でグランプリを獲得された“子ども人権プロジェクト”の紹介も印象に残りました。

3)7月8日は、滋賀蒲生野クラブのキックオフ例会、2名の入会式に久保田 EMC 事業主任とお招きを頂きました。次期理事の岡村ワイズが今期会長をされ、応援も兼ねて出席致しました。入会式の後、小生から①理事主題②リーダーシップのヒントについて双方向でお話を致しました。幸先の良いスタートに感謝申し上げます。

# 7月キックオフ例会報告

7月21日月曜日に鹿児島市国際交流センターにて2025-2026年度キックオフ例会が開催されました。松若鉄比古新会長のもと、主題であります「一步一步積み重ねていけば何とかなる！」を掲げ鹿児島クラブが船出しました。クラブ1の超ポジティブな方が会長になりました。毎月毎月の例会が活気に満ちた楽しい例会になることが容易に想像できます。期待しております。

総会も行われ、協議事項として24-25年度期の決算及び事業報告と25-26年度期の予算案、事業計画案が議題として協議されました。両議案とも全会一致で可決されました。

ブリテンについても会長から提案があり輪番制で例会の報告を書いていただくことが決まりました。特徴のあるブリテンになるのではないかと期待が持てそうです。皆様よろしくお願ひします。

例会のあとは、新内直前会長の慰労会と中堀ワイズの誕生会を兼ねて居酒屋「極」で盛大にお食事会を開催しました。たくさんの元気を皆様からいただきました。この猛暑な夏も何とか乗り越えていけそうです。この1年、健康に気をつけてワイズ活動を楽しんでいきましょう。



## 今月の樹 ノウゼンカズラ

中国を原産とするノウゼンカズラ科の蔓性植物で、俳句の季語にもなっているオレンジ色の花を觀賞するため、庭木として植栽される。日本へ渡来したのは西暦900年代(延喜年間)のことで、当初は主として薬用に栽培された。

ノウゼンカズラという名前は、他を凌駕して空を覆うほどに育つことを意味する中国名「凌霄」に由来する。当初はリョウショウと読んだが、それがノウショウからノウゼンに転訛したという。カズラは蔓性植物全般を意味する。

花期は6~8月で、枝先から伸びた20~40センチの花序が房状に垂れ下がる。花の直径と長さは5~6センチほどで、基部は筒型、上部はラッパ状で先端は少し歪んで五つに裂ける。雌しべは長さ4センチ弱で先端は舌状に広がって二つに裂ける。雄しべは4つあるが、うち2つが長い。花は朝開いて夕方に閉じる一日花だが、全体としての花期は長く、サルスベリと共に花の少ない夏の庭を彩る。晴天が続くとよく開花し、曇天では咲きにくい。



7 July

## 7月定例会報告

日時：令和7年7月21日(月)  
場所：鹿児島市国際交流センター  
出席者：11名  
内容：キックオフ例会

### 7月例会の記録

クラブ在籍者	9名
出席者	9名
メネット	1名
コメット	1名
ゲスト	0名
ビジター	0名
メイクアップ	0名
7月出席率	122%



## 今月の聖句

終わりに、皆心を一につに、同情し合い、兄弟を愛し、憐れみ深く、謙虚になりなさい。悪をもって悪に、侮辱をもって侮辱に報いてはなりません。かえって祝福を祈りなさい。祝福を受け継ぐためにあなたがたは召されたのです。「命を愛し、幸せな日々を過ごしたい人は、舌を制して、悪を言わず、唇を閉じて、偽りを語らず、悪から遠ざかり、善を行い、平和を願って、これを追い求めよ。主の目は正しい者に注がれ、主の耳は彼らの祈りに傾けられる。主の顔は悪事を働く者に対して向けられる。

(ペテロの手紙3章8-12節)

鹿児島ワイズメンズクラブ  
WEBサイトはこちら▶





# 第44回 九州部会 in 熊本

主催／ワイズメンズクラブ国際協会 西日本区 九州部  
ホストクラブ／熊本Nスピリットワイズメンズクラブ

2025年10月11日(土)

申込み締切／9月13日(土)

## 第2回九州部評議会

場所：シアーズホーム夢ホール  
〈2階・第6会議室〉

PM13:00～14:30

## 九州部会（懇親会）

場所：ホテルメルパルク熊本  
PM15:30～19:30

参加登録費： 12,000円



## 超多忙 チアダンスの夏!!

夏休みは入ってからというもの、イベント出演やキャンプなどで大変忙しい夏を満喫しています。

### イベント出演

- 7月26日(土) 牟礼岡夏祭り(牟礼岡中央公園)
- 7月26日(土) 上荒田の杜フェスタ(上荒田の杜公園)
- 8月2日(土) 鴨池校区夏祭り(真砂本町公園)
- 8月2日(土) オロシティ夏祭り(オロシティホール)
- 8月10日(日) ママが輝く子育てマルシェ(オロシティホール)



### キャンプ、遠征

- 7月26～27日 USA サマーキャンプウェスト(神戸市)
- 7月31日～8月7日 山梨YMCA キャンプ、PJL サマキャン、USA サマーキャンプ(静岡県富士市)
- 8月16～18日 鹿児島YMCA サマーキャンプ(大隅青少年自然の家)



鹿児島YMCA 新内 博之